

リユース容器シェアリングサービスの実証実験に参加 ～「なかのSDGsパートナー」としての新たな取り組み～

キリンホールディングス株式会社（代表取締役社長 磯崎功典）は、株式会社カマン（代表取締役 善積真吾 以下、カマン社）が2月5日（月）から3月1日（金）に開催する、リユース容器シェアリングサービスの実証実験に参加します。当社は東京都中野区（区長 酒井直人）が主導する地域課題の解決およびSDGsの推進に取り組む「なかのSDGsパートナー」※1 制度に2024年1月に登録しており、今回の実証実験はパートナー登録以降、1事例目となる取り組みです。
※1 <https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kusei/kousou/seido/0237313120231019095752322.html>

今回の実証実験は、カマン社が提供するリユース容器 Megloo（メグルー 以下、Megloo）を、キリングroupが本社を構える中野セントラルパークに出店するキッチンカーおよび一部飲食店、コンビニエンスストアにて使用する取り組みです。期間中、キリングroup本社オフィス内に Megloo の回収ボックスを設置し、キリングroup本社から排出されるプラスチックごみとCO2の削減を目指すとともに、当取り組みに賛同する企業と協働し、中野区でのコレクティブインパクト※2を創造していきます。
※2 特定の社会課題を解決するために、企業、自治体、NPOなどのプレーヤーが Collective（集合的）に取り組むことで、インパクトの最大化を図る。

本取り組みでは、三井化学株式会社（代表取締役社長 橋本修）は容器の素材にマスマランス方式※3のバイオマスプラスチックを採用・提供し、ティーム有限会社（代表取締役社長 高瀬由紀夫）が運営するキッチンカー、株式会社ローソン（代表取締役社長 竹増貞信）の中野区内の2店舗のほか、中野セントラルパークの一部飲食店において Megloo を使用します。使用済み容器は、中野区役所、東京建物株式会社（代表取締役社長執行役員 野村均）が管理する中野セントラルパーク、株式会社丸井グループ（代表取締役社長 青井浩 以下、丸井グループ）に回収ボックスを設置し、回収した後に丸井グループ本社の社員食堂にて洗浄し、再利用されます。
※3 原料から製品への加工・流通工程において、ある特性を持った原料がそうでない原料と混合される場合に、その特性を持った原料の投入量に応じて、製品の一部に対してその特性の割り当てを行う手法。<https://jp.mitsuicheicals.com/jp/sustainability/beplayer-replayer/massbalance/>



<リユース容器 Megloo（メグルー）の回収ボックス>

<リユース容器 Megloo（メグルー）と提供イメージ>

キリングroup本社に勤務する多くの従業員が昼食時にキッチンカーを利用しています。今回は、2023年7月に実施した実証実験に続く2回目となり、18日間で合計約18kgのプラスチックごみ削減（約96kgのCO2削減効果※4）をキリングgroupとして見込んでいます。これらの活動を通して、循環型資源の活用を目指していきます。

※4 カマン社のCO2削減根拠に基づき当社試算

キリングgroupは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。

【参考】

リユース容器 Megloo（メグルー）のサービス概要：<https://megloo.jp/>

（お客様お問い合わせ先）

キリンホールディングス株式会社 お客様相談室 （フリーダイヤル）0120-770-502
企業情報 Web サイト <https://www.kirinholdings.com/>